

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 「モノ売り」に加え「運用・保守」に新たな商機 杉山 武史(三菱電機社長)

1. これまで、いわれる「モノ売り」だけではなく、運用とか保守といった、モノを売った後に顧客が使う期間に商売するようなビジネスにしてこなかった。そこに我々の弱さがありました。例えば、電力の事業では、我々は発電機や変圧器をつくって、それを売って収益を得ていました。ところが大型発電所の新設がなくなり、小規模な発電所ばかりになってきた。設備が小型になり、メーカーからすると売り上げが減る方向の変化です。
2. その一方で、今も使っている古い火力発電所を安定運用するために監視や制御の技術が必要になる。そこに商機があるのに、どうしても新設の発電所に向けたモノ売りに目を向け続けてしまった。だから、景気が悪くなってみんながモノの発注を減らしたときに我々の売り上げも落ちてしまうわけです。運用や保守といった社会が動いているときに不可欠な部分にも我々は貢献できるはず。ハードだけにしがみついていたのを変えなければならない局面に来ています。
3. モノづくりのところは中国や韓国などにいずれキャッチアップされる可能性が極めて高い。モノをつくって納めてきたノウハウや経験を運用のところにどう注入できるか。それが我々の生きる方向性だと思っています。  
(参考:「日経ビジネス」2021年2月1日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 見識と胆力を備えた謙虚さ(応対辞令)

#### 数土 文夫 (JFEホールディングス名誉顧問)

1. かの老子は説いています。「人を知る者は智なり。自ら知る者は明なり」(人を知ることは智者に過ぎない。自分自身を知ることを最上の明とすべきである)。他者について知ることが重要ですが、自らについて知ることがさらに重要であり、難しいことでもあります。老子とほぼ同時代のギリシャの哲学者・ソクラテスは、「知る」とは「知らないことを知ること」と喝破しています。
2. 老子やソクラテスが説き、見識と胆力を備えた謙虚さこそ、応対辞令の基本です。人間学の核心とも言える応対辞令を学ぶことが、この困難な時代に道を拓く鍵になると私は考えています。  
(参考:「致知」:2021年4月号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 2030年、仕事を激変させる「7つのキーワード」

1. パンデミック…感染症で人の移動が制限される。一方で、リモート化が進む。
2. DX…企業がデジタル技術で業務や組織を変革する。
3. AI・ロボット…知的労働をAIが、肉体労働はロボットが奪う。
4. 脱炭素…ガソリン車が電気自動車に置き換わる等、産業構造が一変する。
5. ジョブ型雇用…年齢や社歴でなく、職務で社員が評価される。
6. ギグワーク…隙間時間を利用し、単発で仕事を請け負う。
7. 遊び…仕事と遊びの境界線がなくなり、得意なことを本業にする。  
(参考:「週刊東洋経済」2021年1月30日号)

## 古典に学ぶ

### 王道は人間行為の定規

(解説) 試みに余の希望を述べれば、法の制度はもとよりよいが、法が制定されておるからと云って、一も二もなくそれに裁断を仰ぐということはなるべくせぬようにしたい。もしそれ富豪も貧民も王道をもって立ち、王道はすなわち人間行為の定規であるという考えをもって世に処すならば、百の法文、千の規則あるよりも遙かに勝った事と思う。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)